



第 18 回 例会 報告 (11月7日)

【 出 席 報 告 】

・会員数 55名 ・出席数 35名 ・欠席数 20名

・当日出席率 66.00% ・前々回修正出席率 84.31%

<欠席会員>原田、原、檜垣(直)、檜垣(巧)、平田、吉良、小堀、桑森、光藤、村上(修)、西本、岡本、大澤、竹田、藤堂、吉田
〔免除会員〕青野、松本、白石、八木

<10/24 欠席補填>(10/15 松山)青野(賢)、矢野 (10/17 新居浜)村上(裕)、村上(修) (10/22 今治南)岡本
(10/23 東予)松木 (10/29 今治南)桑森

◇劉さんスピーチ・最近涼しくなってきた食欲が戻り、食べ過ぎて多少太りました。今月の目標は、卒業論文を書くことと、ダイエットをすることです。

◇親睦活動委員会・お誕生日スピーチ・飯忠悟会員：とうとう 81 歳になりました。ぱっつんの数の年。今年ほどどんどん勝負ができる。次はくっぴん(91)の総取りまで頑張りたいと思っております。10月27日の夜から妻と神戸へ。翌朝のホテルで、妻が僕の髪の毛をなでながら『真っ白になったね』と言われました。

ロータリー財団委員会アワー

◆尾越優委員長『新しくなったロータリー財団』:11月はロータリー財団月間で、例会の内1回が委員会アワーとして割り当てられます。年間の例会のうち、最も退屈な時間の一つと思いますが、本日は今年度よりスタートした「未来の夢計画」を中心に、できるだけわかりやすくなるようにお話しさせていただきます。▼ロータリー財団委員会はその内容の複雑さや難解さや、継続性が求められることから、地区においても、クラブにおいても3年委員の委員会とするようになっていきます。当クラブの財団委員長の役割は、1000ドル寄付の第一候補者であり、あと数名のポールハリスフェローを排出すれば、ほぼその割を全うできるといっても過言ではありません。今後の私の重要な務めは、1000ドル寄付を1本釣りでお願ひすることです。▼日本における財団は、これまで法人格の組織がありませんでしたが、2011年に公益財団法人ロータリー日本財団が設立され、寄付金控除の対象となりましたので、少しは寄付がしやすくなったのではないのでしょうか。▼本日は DDF=District Designated Fund に話を絞ってみます。財団においては、寄付を2年間運用し、3年目にシェアシステムで配分されることは今後も変わりませんが、地区で利用できる資金が大幅に大きくなりました。2670地区3000人が100ドル=1万円寄付した場合の総額は3000万円。これまでは、その半分の1500万円がDDFの上限であり、クラブ単位で利用できる地区補助金はその20%を上限とする300万円。年間20クラブ程度に10万円程度が補助されていました。今年から、1500万円がDDFの上限に変わりませんが、地区補助金はその半分の750万円まで認められ、現在45クラブから申請された事業に総額550万円程度が補助され、残り200万円が2人の奨学生に支給されました。DDFの残り750万円はWFのグローバル補助金制度を活用することにより、同額の750万円までがWFから支給され、1500万円の事業が可能で、結果、地区主導の事業として、2250万円=寄付総額の75%までが利用可能となったのです。これを当クラブに置き換えると、年間100万円の寄付があった場合、その1/2のDDFの1/2の25万円が地区補助金に該当し、地区内クラブの活動補助金として利用されることとなります。クラブとして補助金申請すれば、10数万円の補助金を獲得できますが、当クラブは今年度申請していません。次年度利用を計画するなら、今年度に申請が必要です。▼自分たちの寄付を、自分たちの奉仕活動に活用しやすくなった点が大きな変更点です。



<ゲスト> 米山記念奨学生 劉丹璐さん

<ビジター>今治南 RC 寺尾幸佳様<薬局>、西山剛生様<普通銀行>

次回例会(11月14日)

【 新会員卓話 】

<会員誕生日祝> 眞鍋 次男氏 (11/16) 渡邊 道信氏 (11/26)

<配偶者誕生日祝> 青野 淳一氏 (11/18)

<結婚記念日祝> 青野 賢治氏 (11/24)

<入会記念日祝> 高木 幹男氏 (11/25) 青野 賢治氏 (11/26) 青野 明高氏 (11/26)

[笹]